

「木族の家子ども基金」助成金実績報告書

2025年 1月 20日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地	長野県松本市波田10242-5	
団体名	ほっとくらぶ	
代表者職氏名	代表 斉藤雅恵	印

「木族の家子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

「木族の家子ども基金」助成金

2. 助成金活動内容（この事業で具体的に行ったこと）

2024年5月18日富士見高原リゾートへゲスト2組で日帰りキャンプに行くことができました。前日、当日に体調不良にて2組のゲストさんがキャンセルとなりましたが、人工呼吸器を装着された2組は参加ができました。富士見高原では電動カートに人工呼吸器や吸引器など必要物品を積み込んでご本人が安定できるように椅子を工夫しながら山頂1420mまで電動カートにて移動。
晴天で、山頂では富士山も確認出来てご家族皆さんがそれぞれ記念写真を撮り、ボランティア参加の子どもたちとゲストさんご家族も一緒にゲームをしたり、ハンモックに乗って揺れてみたり、シャボン玉を飛ばして遊び、その後は下山して全員で会食を楽しみ、温泉を楽しんだり、外を走り回ったり、焚火でマシュマロを焼くなど、それぞれが思うように時を過ごすことができました。
昼食時にはケアのあるお子さんの注入食はご家族支援のために同行したボランティア看護師が支援を実施して、ご家族はゆっくり昼食を楽しむことができました。ご家族がゆっくりとした時間を過ごすことができ明日からの活力に繋がって参加できてよかったと笑顔が見られました。

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

今回は天気にも恵まれて、気温も高く山頂でも気温低下による心配もなく過ごすことができました。今回人工呼吸器装着されて全介助のお子さんの参加がありましたが、ご家族は晴天の中で多くの方との出会いやボランティアの子ども達が参加していることで、大変癒されたと話されていました。また初めてボランティアスタッフとして参加し下さった方々も医療的ケアがあっても自分たちが荷物を運び、遊び道具を準備する等、出来ることでお手伝いできることを確認されて、安心して参加してくださっていました。

富士見高原リゾートではドタキャンがあっても、いつも快く受け入れてくださっており、今回もキャンセル料なく、受け入れてくださいました。毎年参加させていただき、交流させていただくことの重要性を感じております。

移動の電動カートにも工夫をして移動介助も手伝ってくださっており、普段からもユニバーサルデザインを考えた受け入れ体制で、食事も注入食をメニューで作っていただき、ほっとくらぶからの要望が障がい者受け入れ時の情報共有に繋がられるとの事で、お互いに障がい者の受け入れ方法について検討するなどしております。

普段遠出して遊べない中で、離れた富士見高原リゾート日帰りキャンプでは朝から少しドライブをして現地に着いて、電動カートにて山頂に行き、池のほとりでは焚火や山登りもできるヒッポという車いすを大人も健常児も一緒に体験して、色々な触れ合いができていました。

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

木族の家様からの助成により、富士見高原リゾート日帰りキャンプの中で、人工呼吸器を装着している子どもたちも受け入れて、一緒に遊んで山頂を体験して、会食することができました。また健常児も一緒に医療的ケアのある子どもたちと触れ合って、自然に気遣いが出来ることが今後の社会育成の中で大切な時間になっていたと感じています。

医療的ケアがあってもご家族支援としては、外気浴、多くの方々との触れ合い、対外的な準備の心配は無く、安心してただ参加すればよいという取り組みは施設利用料の助成があればこそだと感じております。



富士山



ほっとくらぶ お出かけイベント

2024年 5月18日(土) 開催

富士見高原リゾート日帰りキャンプ

野外でいっぱい遊ぼうよ 

集合：八峯苑 鹿の湯前 9時

解散予定：15時

**富士見高原リゾートにて天空カートに乗って、1420M
へGO！ 外でいっぱい遊ぼう！！ 小雨決行です。**

(紫外線対策、気温対策など調節お願いします。)

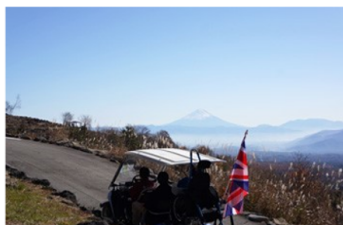


■参加費(施設使用料・カート代・昼食代含みます。)

中学生以上2,500円

4歳以上～小学生1,500円 0～3歳児無料(飲み物あり)

昼食：形態食対応できますので、事前に詳細をご連絡ください。



■富士見高原リゾートへは中央道諏訪南 IC
から車で15分 松本地域からは約1時間です。

当日は鹿の湯横の駐車場へ

ボランティアスタッフは「C-1」に停めてね。



◆申し込み◆

① 申込用紙にご記入の上、写真を撮ってメール添付又は FAX
でご送付ください。

② 申込フォームよりお申込み(QRコードより)

※4月27日(土)までにお申し込みください※

受付完了後、こちらからご連絡差し上げます。

問い合わせ：事務局 斉藤090-4009-2524 hotma3hata@gmail.com

藤原090-4442-4364



* この活動は長野県みらい基金 冠基金「木族の家子ども基金」より助成を受けております。

「木族の家子ども基金」助成金実績報告書

2025年 1月 27日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地

長野県松本市巾上9-26 松本協立
病院内中信健康友の会事務局内

団体名

反貧困セーフティネット・アルプス

代表者職氏名

代表 横山 直毅

印

「木族の家子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

「木族の家子ども基金」助成金

2. 助成金活動内容（この事業で具体的に行ったこと）

生活困窮など様々な理由で無料こどもじゅくに参加している子どもたちが夏休みを利用して野外活動や、体験活動とおして、楽しい一日を過ごしました。

8月4日午前、木族の家の木工体験教室でスタッフの指導により本棚、小鳥の巣箱、おもちゃ箱など思い思いの作品づくりに挑戦しました。午後、梓川の梓水苑バーベキュー、水遊びで交流しました。長期間不登校のため家で引きこもり傾向の子どもが参加できたり、保護者の参加もあり、充実した体験を深めることができた一日となりました。

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

松本地域で開催している無料こどもじゅく3か所(松本Mウイング、波田、小宮)が合同で子どもたちの夏休み体験活動を計画しました。日常は学習中心の活動ですが、小学生を中心に交流する機会となりました。また、助成いただいた木族の家の応援により木工体験教室もできました。

初めてのスタッフの方に技術を教えていただき、子どもたちも真剣に作品作りに挑みました。長い間引きこもり傾向の子どもも久しぶりに参加できました。午後は一部保護者も参加しバーベキュー、ペットボトル水鉄砲などの水遊びなどで交流体験し、夏休みの楽しい一日を過ごすことができました。

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

(様式第3－1号)

さまざまな困難な中、こどもじゅくに参加している子どもたちに夏休みに貴重な体験と楽しい一日を過ごす機会を応援いただきありがとうございました。懇談の折にいただいたお話を具体化して木工教室も体験できました。大勢のスタッフのみなさまのご指導に感謝いたします。一人ひとりが満足な様子で作品を手をしている様子を写真でご覧いただけたらと思います。家から出れなかった子どもが木工教室ならと1年数か月ぶりに参加することもできました。

保護者も含め参加費無料で開催することもでき、企画運営する立場からも助成金により安心して準備することができました。ありがとうございました。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- (1) 収支計算書（様式第3－1号）
- (2) 収支計算書の証拠書類(領収書の写し等)
- (3) 活動の実施風景写真(外部公開可能なもの)
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）

おひょう
無料 こどもじゅく

松本・波田・小宮 合同
夏休みスペシャルイベント!!

木工教室 2024 8/4(日)

と
バーベキュー&外あそびー♥



◇・◇・◇・恒例の夏休みスペシャルイベント4回目・◇・◇・◇

午前中は山形の工務店「木族の家」さまのご協力で、木工教室を。おもちゃ箱・イス・巣箱・本だな・ワンちゃんの5種類からそれぞれ選んで、大工さんの指導を受けながら製作。みんな夢中で一生懸命取り組みました。

昼は梓川の「梓水苑」に移動し、バーベキューランチ。その後、ペットボトルの水鉄砲や川遊びなどで楽しく過ごしました♪ <参加数:こども23名・保護者7名・スタッフ13名>



「木族の家子ども基金」助成金実績報告書

2024年 月 日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地	〒390-0828長野県松本市庄内3-8-5
団体名	信州こどもホスピスプロジェクト
代表者職氏名	白鳥信博



「木族の家子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

「木族の家子ども基金」助成金

2. 助成金活動内容（この事業で具体的に行ったこと）

講演会「悲しみや生きにくさを抱えている若者や子ども達が前向きに生きていくために」
～本郷由美子さん グリーフケア講演会～を開催しました。
・日時：令和6年3月3日（日）・開催場所：松本市総合福祉センター
・内容：事件や事故の被害者、被災者、身近な人を亡くした方、終末期を迎える方、障がいをお持ちの方々など多様なかなしみに対する寄り添い方、グリーフケア・グリーフサポートの現状と今後、その必要性、及びいのちの重さ・大切さを説く内容でした。 ・参加者数：28人

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

参加者を対象に5段階の習熟度・満足度アンケート調査を実施し平均4.5以上の評価を獲得することが出来ました。参加者の中に地元市議会議員や医療関係者・教育関係者がおられ、市政・医療機関・学校の中でグリーフケアの取組みを紹介頂けることになり、グリーフケアの幅広い認知に繋げることができました。また、こどもホスピスに興味を持って頂けた方も見られ、こどもホスピス周知にもつなげることが出来ました。

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

(様式第3－1号)

講演会という形でグリーフケアの周知・認知活動が出来たことは、グリーフケアがまだ十分に認知されていない中で新たな取り組みとして、大変有意義な講演会となりました。講演会という場が、自らのグリーフ体験を語る場としても活用できることを知ることが出来ました。今回のような機会を与えてくださった寄付者の方々に感謝いたします。ありがとうございました。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- （1）収支計算書（様式第3－1号）
- （2）収支計算書の証拠書類（領収書の写し等）
- （3）活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- （4）その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）

本郷由美子さん グリーフケア講演会&お話し会



本郷由美子さん 略歴

1995年阪神淡路大震災で被災し大阪池田市に転居。2001年に大阪教育大学附属池田小児童殺傷事件で、当時小学校2年生だった愛娘を亡くす。翌年グリーフケアと出会い心のケア活動を開始。2005年に精神対話士の資格取得し心のケア活動を開始。その後、上智大学グリーフケア研究所で3年間学び、2014年日本スピリチュアルケア学会スピリチュアルケア師(専門)認定を受けた。同年、同大学グリーフケア研究所非常勤講師を務めた。現在は、事件や事故の被害者、被災者、身近な人を亡くした方、終末期を迎える方、障がいをお持ちの方々など多様なかなしみに寄り添う活動のほか、グリーフケア・グリーフサポートを広める講演や研修、いのちの重さ・大切さを伝える講演や授業を行っている。

参加無料

3.3 日

開場13:30
14:00~16:00

進行スケジュール

13:30 開場
14:00~15:00 講演会
15:00~15:10 休憩
15:10~16:00 お話し会

会場

松本市総合社会福祉センター 4F
中会議室 松本市双葉4-16
TEL0263-25-3133(代表)
センター駐車場かイオン南松本
屋上駐車場をご利用下さい。

司会進行



中村美幸さん

27歳の時、生後4ヶ月の長男（故 溪太郎）が小児がんを患い、1歳4ヶ月で永遠の別れを経験。それを多くの人に伝えるため、PTA講演会、企業研修、看護師会研修、がん患者・遺族の会などで幅広く活動中。長野県佐久市生まれ。千曲市在住。社会人二人の母でもある。

講演に耳を傾け、語り合いましょう！お気軽にご参加ください！

参加お申込み

右記のQRコードか右記のお問合せ先から願致します。



お問合せ先

信州こどもホスピスプロジェクト事務局

E-mail: shinshuchp@gmail.com

講演会「悲しみや生きにくさを抱えている若者や子ども達が前向きに生きていくために」

～本郷由美子さん グリーフケア講演会～

主催 信州子どもホスピスプロジェクト

本郷由美子さん グリーフケア講演会&お話し会



参加無料

3.3日

開場13:30

14:00～16:00

進行スケジュール

13:30 開場

14:00～15:00 講演会

15:00～15:10 休憩

15:10～16:00 お話し会

会場

松本市総合社会福祉センター4F
中会議室 松本市双葉4-16
TEL0263-25-3133(代表)
センター駐車場かイオン南松本
屋上駐車場をご利用下さい。

司会進行



中村美章さん

27歳の時、生後4ヶ月の長男（現・次男）が小児がんを患い、1歳4ヶ月で永遠の眠りを迎えた。それを多くの人に伝えるため、PTA講演会、企業研修、看護学会研修、がん患者・遺族の会などで幅広く活動中。長野県松本市生まれ。千歳市在住。社会人二人の母でもある。

本郷由美子さん 経歴

1995年神戸大学大学院で被災し大高池田市に転居。2001年に大阪教育大学附属池田小学校で教員として、当時小学2年生だった愛娘を亡くす。翌年グリーフケアと出合い心のケア活動を開始。その後、上智大学グリーフケア研究で3年間学び、2014年日本スピリチュアル学会スピリチュアルケア師(専門)認定を受けた。10年、同大学グリーフケア研究所非常勤講師を務めた。現在は、事件や事故の被害者、被災者、身近な人を亡くした方、喪失期を迎える方、向かい合おうと努力する方など多岐にわたる活動中。活動のなか、グリーフケア・グリーフサポートを必要とする講演や研修、いのちの重さ・大切さを伝える講演や授業を行っている。

講演に耳を傾け、語り合しましょう！お気軽にご参加ください！

参加お申込み

右記のQRコードか右記の
お問合せ先からお願致します。



お問合せ先

信州子どもホスピスプロジェクト事務局
E-mail: shinshuchp@gmail.com

